

シンポジウム7 ★NBRP企画シンポジウム開催★

「新しい時代の実験動物 バイオリソース」

日時：5/31(金) 9:30-12:00 (学会最終日)

場所：ロームシアター京都 B2F ノースホール

座長：真下 知士(東京大学)、吉木 淳(理研BRC)

実験動物(特に哺乳類)は、ライフサイエンス研究の基礎・基盤となるバイオリソースとして、毒性試験や安全性試験として、さらには個別化医療の疾患モデルとして、その重要性が増加している。一方、ゲノム編集技術も急速に進展しており、ゲノム情報をはじめ付随する特性情報の充実が利用者にとっては鍵となっている。本シンポジウムでは、国内外バイオリソース拠点の代表の先生方に、こうした状況や今後の利活用の在り方の変化を幅広い参加者にわかりやすく解説していただく。

S7-1 進展するマウスリソース整備事業

○ 吉木 淳 (理化学研究所バイオリソース研究センター)

S7-2 ラットリソース整備事業のこれまでとこれから

○ 浅野 雅秀
(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

NBRP関連リソース (全5リソース) :

*実験動物マウス、*ラット、*ニホンザル、
*ニワトリ・ウズラ、*ゼブラフィッシュ

5/31
(金)
9:30-
12:00

S7-3 なぜサルを実験に用いるのか

○ 中村 克樹 (京都大学ヒト行動進化研究センター)

S7-4 ニワトリ・ウズラリソース ：始原生殖細胞を用いた新展開

○ 西島 謙一、奥寄 雄也
(名古屋大学大学院生命農学研究科)

S7-5 モデル実験動物としての ゼブラフィッシュとNBRP

○ 岡本 仁 (理化学研究所脳神経科学研究センター)

S7-6 Seoul National University Hospital Marmoset Model Network Center(SNUH-MMNC) and Disease Model

○ Byeong-Cheol Kang
(Seoul National University College of Medicine, Biomedical Research Institute, Seoul National University Hospital)

展示会場・
お問合せは

NBRPブース (No. D-6~9)
@みやこめっせ 1階 第2展示場

NBRP広報室 (国立遺伝学研究所内)
URL: <https://nbrp.jp/>
メール: nbrp-pr@nig.ac.jp